

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	環境政策課長 湊 直樹	電話番号	0852-22-5345
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	しまねこども環境学習推進事業費		
目的	(1) 対象	こども	
	(2) 意図	島根県における次代の環境保全を担う人材を育成するため、体験学習等を通じて子どもたちの環境に配慮する意識を高める。	
事業概要	子どもたちが主体的に環境について考え、具体的に行動することを通じて環境意識を高めるよう、学校生活での自発的な取組を支援する。		

2. 成果参考指標

(1) 指標名	学校版エコライフチャレンジしまね登録学校の割合	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値			77.00	80.00	83.00	86.00
式・定義	学校版エコライフチャレンジしまね登録学校数/小中学校・高等学校・特別支援学校数	実績値	71.40	75.00	76.00	77.00		
		達成率		97.40	95.00	92.80		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	260	260
うち一般財源(千円)	260	260

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

H26年度の「学校版エコライフチャレンジしまね」の登録学校の割合は77%で、過去5年間の平均（63.74%）を上回っている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

小中学校における環境教育の取組は、着実に広がっている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 - ・登録学校の割合は70%後半であり、小・中学校における取組の割合は80%を越えているが、高等学校の登録割合は低迷。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 - ・現在の環境教育のメニューが学校現場（特に高等学校）のニーズに応じた取組になっていない。
- ③原因を解消するための「課題」
 - ・学校現場のニーズに応じた環境教育メニューの提示。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・次世代を担う子どもたちの中でその先頭にいる「中学・高校生」を対象として、産業廃棄物に重点を置いた環境教育を推進。
 ・具体的には、発生抑制、再資源化、適正処理等に取組む事業所や施設を見学する、現場体験型の環境教育を進め、人材育成と環境への意識を高める。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）